第6回アフリカ開発会議にGAFIが参加

エジプト投資・フリーゾーン庁（GAFI）

8月27～28日、第6回アフリカ開発会議（TICAD VI）がケニアの首都ナイロビで開催された。初のアフリカ開催となった同会議には、アフリカ53か国、開発パートナー諸国、国際機関、地域機関、民間セクターの代表など1万1000名以上が参加した。日本からは安倍首相が出席、同行ミッションとして77の企業・団体などの代表が参加し、各セッションにおいて日本の民間セクターの取り組みを紹介した。

エジプト投資・フリーゾーン庁（GAFI）からは、新CEOのモハマド・ホデール長官、投資政策提言事業セクターのアミーラ・サイード　ジャパン・シニアオフィサー、ニハード・ラスミー会議・シニアオフィサーおよびマフムード・アブデルラヒーム　アフリカ担当が参加した。

サイド・イベントの日本・アフリカ・ビジネスカンファレンスにおいて、GAFIはJETROと、エジプトへの投資誘致支援等に関する相互協力を目的とした覚書を交わした。ホデール長官は、「エジプトはアフリカ諸国の戦略的パートナーであることはもちろん、日本にとっての重要なパートナーであり、JETROとのMOU締結は非常に意義がある。今回のTICADはケニアで開催されたが、エジプトの存在感をしっかりとアピールできた。」と述べ、出席者から支持を得た。また、トーゴ共和国産業貿易投資誘致大臣、タンザニア投資センター総裁や、JETRO、JICA、三菱東京UFJ銀行、豊田通商、鳥取再資源化研究所などの代表者と会談し、エジプトにおける日本の投資拡大、アフリカと日本の協力関係強化について意見交換した。

JETROとのMOU署名

同じくサイド・イベントのジャパン・アフリカEXPOのエジプト・ブースでは、GAFIがエジプトの経済動向や、日本との投資・貿易に関する最新情報をまとめたブローシャーを配布した。

今後、GAFIは、さまざまな機会をとらえてTICAD VIのフォローアップをしていく。

お問い合わせは、GAFI（投資政策提言事業セクタージャパン・シニアオフィサーアミーラ・サイード・アリー・ユースフ博士（日本語翻訳者）E-mail: a.said@gafinet.org.eg）まで。

ジャパン・アフリカEXPOのエジプト・ブース

JOI Special Members

JOI特別会員についてのお問い合わせは、事業企画部（bd@joi.or.jp）まで。